

令和4年度第1回川口市廃棄物対策審議会議事録

令和4年度第1回川口市廃棄物対策審議会	
1 開 会	
2 委 嘱 式	
河井一広委員が大川敏彰委員の後任として委嘱される。	
3 換 拶	
会長挨拶	
議事録確認者選任 吉野修弘委員が指名される。	
4 議題（1）家庭ごみの自己搬入にかかる予約制及び手数料改定について	
事務局から、資料に基づき説明。	
委員	<p>家庭ごみの処理費用額の多さには驚いている。小学校での環境学習でも家庭ごみの処理費用について触れている。</p> <p>ごみ減量に関する各家庭への啓発活動はどのようなことを行っているのか。</p>
事務局	<p>環境部広報紙PRESS530、広報かわぐちなどでごみの減量を周知、啓発するほか、小学校中学年向けの環境学習資料を市内全校に配布している。</p> <p>川口市ホームページでは、「川口市ごみ減量キャンペーンキャラクター ごみまる」がごみ減量を訴える「ごみまるの部屋」を公開している。</p>
委員	<p>コロナ禍でイベントが開催できない状況が続いているが、以前のように戸塚環境センターでのごみまる祭り等を開催し、子供たちに向けた環境イベントの開催を検討してみてもどうか。</p>
事務局	<p>環境部主催のイベントがコロナ禍で自粛する状況が続いているが、他部局が開催するイベントに参加する等、機会を捉えてごみ減量について周知、啓発していく。</p> <p>また、環境センターでの小学生の見学受け入れ再開等も検討する。</p>

委員	<p>家庭ごみの自己搬入受け入れについて3点質問する。1点目、自己搬入ではなく、ごみステーションでの排出へ誘導する施策は検討しているか。</p> <p>2点目、予約制は家庭系ごみのみで事業系は対象ではないとのことだが、事業系ごみは受入時間中いつでも搬入できるとなると、台貫での対応を検討しなければ、時間帯によっては家庭系ごみの搬入と重なって混雑してしまうのではないか。</p> <p>3点目、事業系ごみを家庭系ごみと偽り搬入したことが確認された際の対応は搬入を断るのみなのか。許可業者とその他の業者で対応は異なるのか。</p>
事務局	<p>1点目について、戸塚環境センターへの自己搬入は粗大ごみ、多量排出もあるが、ごみ袋2袋程度の少量排出者も多数おり、料金改定によりごみステーションでの排出へ誘導する。</p> <p>2点目について、自己搬入の約9割が家庭系ごみであり、残り1割の事業系ごみに抑制を設けてしまうと、事業活動に支障が出る。定期的に排出しなければ次の仕事に行けない場合もあるため、基本的に家庭系ごみのみとしている。</p> <p>3点目について、家庭系と偽ったごみが確認され際は搬入を全て断っている。</p>
委員	<p>2点目について、台貫で事業系ごみと家庭系ごみが一緒になってしまわないか。</p> <p>3点目について、許可業者が偽って搬入した場合、市のルールを守らなかったことの対応として搬入を断るのみなのか。</p>
事務局	<p>2点目について、ほとんどの環境センターの台貫は1か所であり、台貫の受付で家庭系か事業系かを確認しているため問題はないと考える。</p> <p>3点目について許可業者は搬入カードを確認しており、許可業者が搬入するものは事業系ごみとして扱っている。大きな梁や塩ビの配管等の建築廃材を個人で多量に持ち込む方が多いため、こういった場合は受け入れをお断りしている。</p>
委員	<p>家庭ごみの減量について、ごみ袋の有料化は検討しているか。</p>

事務局	現在のところ検討していない。
委員	<p>全国的にごみ袋の有料化が進んでいる。埼玉県はごみ袋有料化率が低く47都道府県中ワースト2位と聞いている。また、川口市は2019年度まではごみの少ない自治体全国4位だったが2020年度は7位に下がっている。</p> <p>ごみ袋を有料化にするとごみが減ることは明らかである。リサイクルよりもリユース、リユースよりもリデュースであり、ごみ袋有料化ということを考えてみても良いのではないか。また、現在考えていないということであれば、生ごみを資源化するといったことで、ごみ削減を考えても良いのではないか。</p>
委員	<p>予約制導入により自己搬入の待ち時間増加がもたらす近隣道路への影響が少なくなると考えられる。料金改定によりごみの処理にも税金負担があることをわかってもらえ、これもごみ減量化につながるのではないか。</p>
事務局	<p>料金改定による受益者負担により、予約システムの維持管理を継続していく。ごみ処理の経費については検討し、市民に対し広報し、周知に努めていく。</p>
議題（２）その他について	
事務局より、次回以降の廃棄物対策審議会の日程を伝達。	
質疑なし。	
議長	最後に委員のみなさんから何かあるか。
議長	委員から発言のあった埼玉県のごみ袋有料化率が全国ワースト2位とのことについて意見をいただきたい。
委員	<p>ごみ袋有料化とごみ処理の有料化は別物である。埼玉県内でも一部自治体はごみ袋を有料化としている。一般廃棄物の処理自体を有料化としている自治体は埼玉県内にはない。</p> <p>ごみ袋を有料化している自治体ではごみ袋の売りさばき手数料の負担が一部の住民にとっては評判が良くない部分もある。</p> <p>事業系ごみのみを有料化とする自治体もある。</p>
議長	本日の議論について意見を聞きたい。

<p>委員</p>	<p>ごみ袋はプラスチック製品であることが多く、ごみとして燃やすとどうしても二酸化炭素が発生することがある。近頃ではCCUS等の二酸化炭素を回収する技術が登場してきているが、まずはやはりごみを減らすことが一番の命題である。</p> <p>一方でプラごみを燃やすことで発電していた工場もあるが、プラごみが減ることでこれができなくなるということもある。どのような取り組みをすべきか各事業者も悩んでいる。</p> <p>ただそうはいつでも、2050年のゼロカーボンに向けて、これに乗り遅れずにやっていかなければならない。</p> <p>スタートとしては、やはりごみ削減が大きな役割を担うと考える。地域にあった対応を求めていくべき。</p>
<p>議長</p>	<p>みなさまから貴重な意見を賜りましてありがとうございました。それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。以上をもちまして令和4年度第1回川口市廃棄物対策審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>
<p>閉会 (14:40)</p>	